

幼稚園の運動会、「できなかったことが できるようになった喜び」の原点を感じました。

9月20日（月）敬老の日の午前中に遺愛旭岡幼稚園、23日（木）秋分の日の午前中に遺愛幼稚園（元町）の運動会が遺愛アリーナで開かれました。2つの園の園長も兼任しているので、両運動会でお祈りと開会・閉会のご挨拶をしました。2部制にしたり、見学者を1家族2名に限定したり、イスを消毒したりして、新型コロナに気をつけながら実施しました。

両園とも昨年から認定こども園になったので、9月に2歳になったばかりのまだ紙おむつをしている幼児から、4月に6歳になったお兄ちゃん、お姉ちゃんもいます。お母さんやお父さんに泣いて抱きついて離れられない子が小さいクラスには何人かいます。かけっこのスタートの時に担任の先生が1人1人名前を呼び、呼ばれた子は手を挙げてハイと返事することになっているのですが、緊張していたのか返事をしない子がいて、隣の子がその子の手を持ち上げて代返してあげる光景も見られました。半年もすると本当に見違えるほど子ども達は成長します。1年もたてば別人のようです。年長さんになると難しいダンスなども正確に覚えて、見事に披露してくれます。ダンスはやはり女の子が上手ですね。言葉も女の子が早く、しっかりしている子が多いですね。お父さん、お母さんが大切に育てているということをしみじみ実感します。遺愛高校の卒業生のお子さん、遺愛中高の教職員のお子さん、お孫さんもいました。子どもたちは、お父さん、お母さんに抱っこされると本当に嬉しそうです。抱っこによって心の栄養が補給されるようです。

幼稚園の先生方は、この日のために本当に一生懸命準備してきました。子ども達には、準備体操の仕方、かけっこの仕方、ダンスの踊り方、リレーのルールなどを1からていねいに何度も教えて、1人でできるようにしていくのです。先生方の粘り強さに本当に感心します。でも間違いなく「できなかったことができるようになる」のです。その喜びを幼稚園の先生は、十二分に味わえるのです。当日も開会式の3時間前に集合して準備します。その甲斐あって、とても楽しくほのぼのした良い運動会になりました。

2021年9月27日（月）



遺愛幼稚園のバルーン



よさこいソーラン



遺愛旭岡幼稚園のバルーン